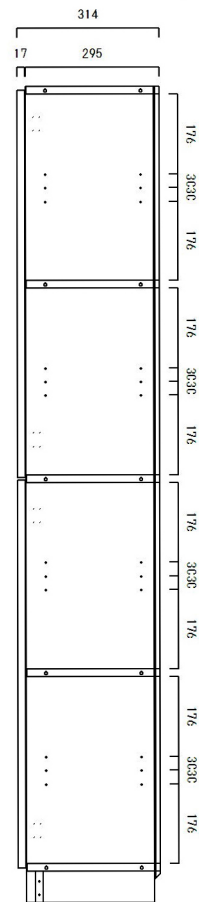
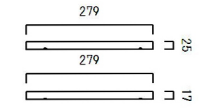
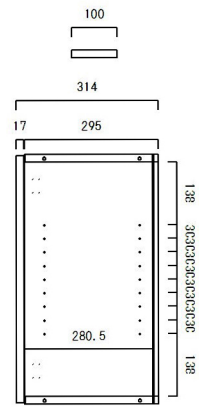
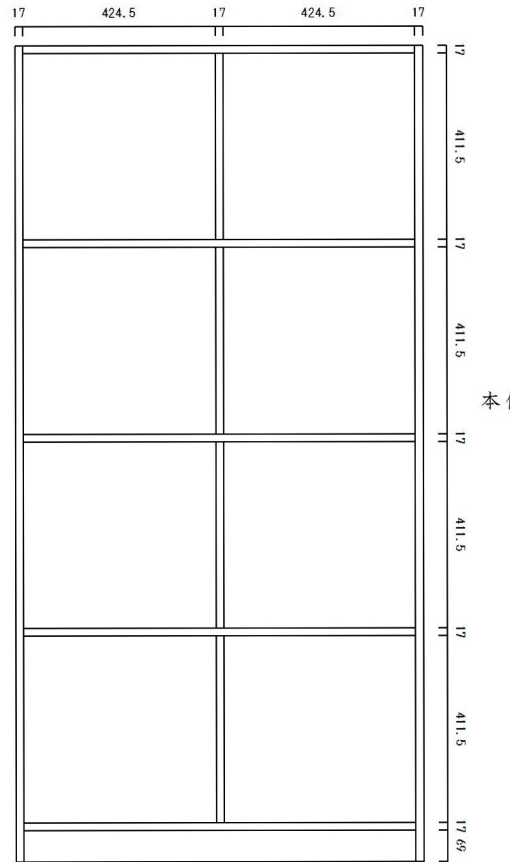
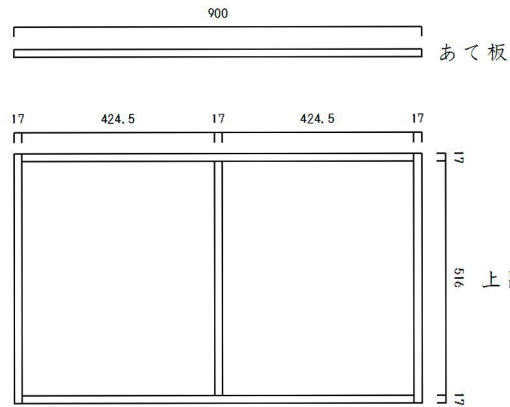


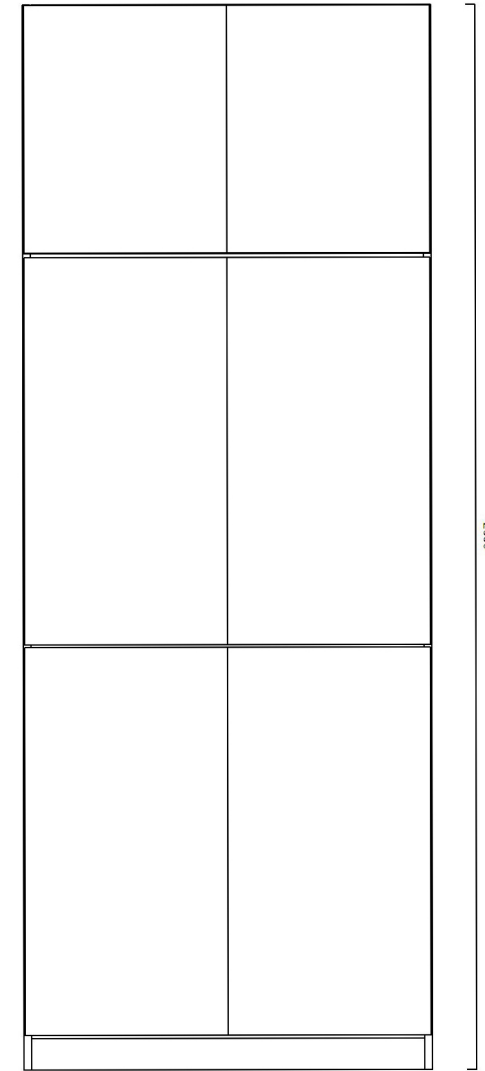
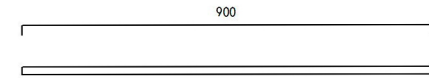
BCM-93



BCM-93T



BCM-93



BCM-93T

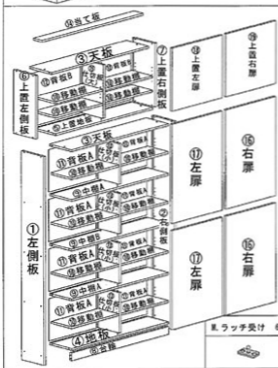
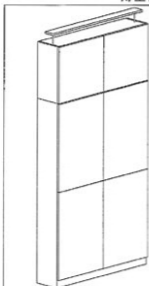
あて板

上置

本体

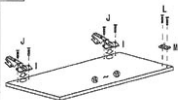
この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
下記のように組み立ていただきご使用ください。

- (注) ① 組み立て前に必ず部品数量をご確認ください。
ビス等、部品が足りない場合は予備の部品をお使いください。
また組み立てる際には、床、商品等に傷がつかないように、
レジャーシート等を敷いて組み立て下さい。
- ② 部材の穴は、それぞれ使用してありますビス及び木ダボのサイズ
に合わせてあけられています。部材の材質により多少かたく感じ
られる箇所もありますが、ビスはかたく締まるまで、木ダボは部材
と部材の間にすきまがでないように組み立ててください。
- ③ ドライバーはビスのヘッドに合ったものをお使いください。
ヘッドの合わないドライバーを使用しますと、ビスが完全に
締まらず緩衝の部分になるおそれがあります。
またビスは締めすぎますと空回りしてかかなくなる場合があります。
ご注意ください。
- ④ ハンマーをお使いになる場合は、古雑器等をあててその上から
たたいてください。直接たたきますと破損するおそれがあります。



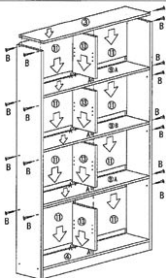
A. ボンド 1個 	B. ビス 28本 (+予備 1個) 
C. 7/16" x 25 - 2t x t 	D. ショットボルト 2t x t 
E. 網ダボ 48個 (+予備 1個) 	F. 木ダボ 2本 
I. 3/4" 蝶番 12個 	J. 蝶番ビス 72本 (+予備 1個) 
K. ラッチ本体 6個 	L. ラッチビス 36本 
M. ラッチ受け 6個 	

1



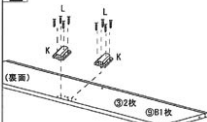
- ④～⑥の扉にI蝶番をJ蝶番ビスで固定してください。
④～⑥の扉にMラッチ受けをLラッチビスで固定してください。

4



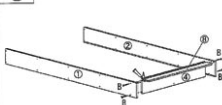
- ④地板に③仕切板(小)をA.ボンドで固定してください。
- ⑩背板Aをミゾに沿って差し込んでください。
- ③仕切板(小)にA.ボンドをつけてください。
- ⑤A中棚をかぶせB.ビスで固定してください。
- ③仕切板(小)をA.ボンドで固定し、⑩背板Aをミゾに沿って差し込んでください。
- ⑤B中棚をかぶせB.ビスで固定してください。
- ※工程4～5繰り返し
- ③仕切板(小)のダボ先にボンドをつけ、⑩背板Aをミゾに沿って差し込み、③天板をかぶせ、B.ビスで本体に固定してください。

2



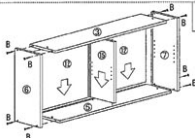
- ③天板2枚と⑨B1枚の裏面にK.ラッチ本体2個をL.ラッチビスでそれぞれ固定してください。

3



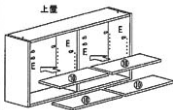
- ①左側板と②右側板に②合輪をA.ボンドで、
④地板をB.ビスでそれぞれ固定してください

5

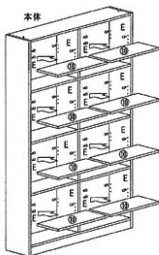


- ⑤上層地板に⑥上層左側板と⑦上層右側板をB.ビスで固定してください。
- ⑤上層地板に⑨仕切板(大)をA.ボンドで固定してください。
- ⑩背板Bをミゾに沿って差し込んでください。
- ③仕切板(大)の木ダボの先にA.ボンドをつけ、③天板を上からかぶせB.ビスで固定してください。

6



上置

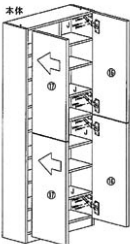


本体

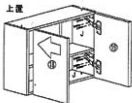
1. 側板の穴にE. 棚ダボを差し込んでください。
2. ⑩移動棚の上に載せてください。

棚板耐荷重約5kg

7



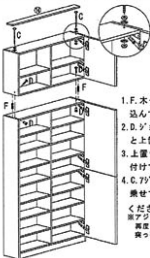
本体



上置

3. ⑪～⑬それぞれの扉に1.スリット螺子をJ. 蝶番ビスで、それぞれ固定してください。

8

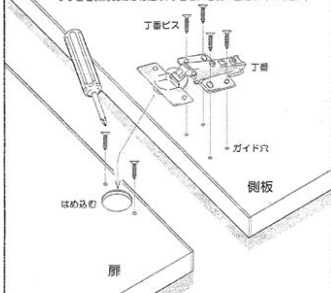


1. F. 木ダボを側板の穴に差し込んでください。
2. D. ジョイント*枠を使って本体と上置を連結させてください。
3. 上置きにC. アジャスターを取り付けてください。
4. C. アジャスターの上に⑭当て板を乗せて天井に突っ張ってください。

*アジャスターは物を入れてから再度突っ張りなおし、また定期的に突っ張りなおしてください。

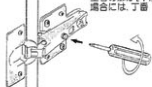
丁番の取り付け方

- 1 [側板]側のガイド穴に合わせて丁番を取り付けてください。
- 2 丁番を[扉]側にはめ込み、丁番ビスを使い固定してください。



扉

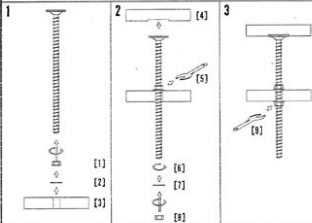
左右の扉が[干渉]していたり、[磨れ]過ぎている場合は、丁番「中央」のネジを、調整してください。



側板

※ネジを締めると、扉は内側へ動きます。

[突っ張り用金具]取り付け方法

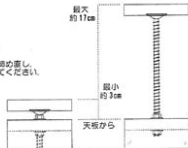


- 1 突っ張り用金具にナット[1]、ワッシャー[2]を取り付け、天板[4]に差し込んでください。
- 2 あて板[4]を載せ、ボルトをスパナ[5]で固定し、突っ張り用金具を調節し[6]天井に当て、ワッシャー[7]、ボルト[8]を取り付けてください。
- 3 スパナを使い、ボルトを締めて[8]固定してください。

突っ張り用金具[転倒防止]の有效高さは、天板の高さから、約3cm～約17cmとなります。



突っ張り用金具は、組み立て後に締め直し、また、定期的に締め直すようにしてください。



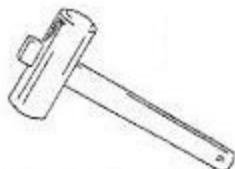
はじめに

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本説明書をお読みいただき、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。
なお、本紙は保管して使用説明等を時々読み返していただき、ご使用ください。

準備する工具



プラスドライバー



木製又はゴム製ハンマー

組み立て上のご注意

- スペースのある場所で組み立ててください。
- 照明器具や床、カーペットにキズを付けないようご注意ください。
- 木製ですので、安全のため手袋を使用されるとより安全です。
- ビスを止める時は最初はゆるく組み立て、完成後にビスを強く締めてください。
- 組み立てる際、指を挟まないようご注意ください。
- ボンドを使用する際は風通しの良い場所で組み立てるようにしてください。
- 各ビスに合ったプラスドライバーをご使用ください。
- 組み立ては必ず水平な場所で行ってください。

使用上のご注意



- 本製品は収納を目的とした商品ですので、それ以外の用途でのご使用はなさないでください。
- 危険ですので傾いた所でのご使用はなさないでください。
- 火気の近くでのご使用は危険ですのでおやめください。
- 片寄った荷重や耐荷重以上の重い物を乗せないでください。
- ネジがゆるむことがあります。時々締めなおしてください。
- 各ビスに合ったプラスドライバーをご使用ください
そのまま使用すると大変危険です。
- 無理に製品をひっぱったりすると床等にキズを付けますので
お取扱いには充分にご注意ください。
- プッシュ式の扉の商品はマグネット・ラッチの近くを押して、扉を開閉してください。
- アジャスターが付いている場合、定期的にはゆるんでないか点検し、
ゆるみはじめたらしっかりしめ直してください。ゆるんだまま使っていると
家具が転倒して、ケガをすることがあります。